

要約

表 題 J-10-050のオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験条件

- 1) 暴露方式 半止水式 (24時間毎に全量換水)
- 2) 暴露期間 48時間
- 3) 試験濃度 対照区, 12倍希釈区, 8倍希釈区, 5.3倍希釈区, 3.5倍希釈区, 2.3倍希釈区, 1.5倍希釈区, 飽和溶液区
- 4) 試験液量 公比:1.5
- 5) 連数 100 mL/容器
- 6) 供試生物数 4容器/試験区
20頭/試験区 (5頭/容器)
- 7) 試験温度 20.0~20.1℃
- 8) 照明 室内光、16時間明/8時間暗
- 9) 分析法 高速液体クロマトグラフ法

結果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質は試験用水中で変化するため24℃で48時間かく拌した溶液（飽和溶液）にて試験実施した。ばく露期間中の試験液の被験物質測定濃度は24時間換水の新液および経時液のすべての濃度の幾何平均にて求めた。変化物 (J-10-055およびJ-10-056) についても同様に求めた。

2) 48時間EC50（半数遊泳阻害濃度）

被験物質	EC50 (48h)	:	>	2.17 μ g/L	(95%信頼区間: 算出不可)
変化物 (J-10-055)	EC50 (48h)	:	>	160 μ g/L	(95%信頼区間: 算出不可)
変化物 (J-10-056)	EC50 (48h)	:	>	7.35 μ g/L	(95%信頼区間: 算出不可)

3) 0%遊泳阻害最高濃度	:	被験物質	1.27 μ g/L
		変化物 (J-10-055)	69.2 μ g/L
		変化物 (J-10-056)	3.35 μ g/L

100%遊泳阻害最低濃度: 最高試験濃度区における遊泳阻害率が50%未満のため求められなかった。